



2003年5月8日

各 位

会 社 名 株式会社シーエーシー  
 代 表 者 名 代表取締役社長 光山 治雄  
 (東証1部 コード番号4725)  
 URL <http://www.cac.co.jp/>  
 問 合 せ 先 取締役  
 責 任 者 経営統括本部長 島田 俊夫

## 2003年度(平成15年度)第1四半期業績のお知らせ

株式会社シーエーシー(略称、CAC)の2003年度第1四半期(2003年1月1日から2003年3月31日まで)の連結業績が確定しましたので、お知らせ致します。

### 【連結業績概要】

(金額単位:百万円)

期別 項目	2003年度 第1四半期		2002年度 第1四半期		増減	
	(2003年1月1日から 2003年3月31日まで)		(2002年1月1日から 2002年3月31日まで)		金額	増減率(%)
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	増減率(%)
売上高	13,467	100.0	8,097	100.0	5,369	66.3
営業利益	1,092	8.1	554	6.9	537	97.0
経常利益	952	7.1	529	6.5	422	79.8
当期純利益	268	2.0	256	3.2	12	5.0
1株当たり当期純利益	12円44銭		11円87銭			
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	12円41銭		11円79銭			

(注)記載金額は単位未満を切捨て表示しております。

### 【連結財政状態】

(金額単位:百万円)

期別 項目	2003年度 第1四半期末	2002年度 期末	増減	
	(2003年3月31日現在)	(2002年12月31日現在)	金額	増減率(%)
総資産	30,210	27,773	2,436	8.8
株主資本	13,024	12,898	125	1.0
株主資本比率	43.1%	46.4%	△3.3ポイント	
1株当たり株主資本	601円78銭	597円54銭		

(注)記載金額は単位未満を切捨て表示しております。

## 【2003 年度第 1 四半期の業績概要】

### 全般的な業績の概要

当年度第 1 四半期(2003 年 1 月 1 日～2003 年 3 月 31 日)においては、政府によるデフレ対策に具体的な進展がみられないなかで、金融システムを巡る構造的な問題、株価低迷、景気悪化、失業問題など国内経済は膠着感を強めたまま推移しました。また、イラク問題による国際政治情勢の不安定化、景気全体への影響等への懸念が強まっており、今後、内外の政治・経済、および金融環境を見通すことが非常に困難な状況となっております。

情報サービス産業においては、前年度からの厳しい状況が依然続いており、アウトソーシングや ERP(統合基幹業務システム)等のパッケージ導入など、一部ニーズは堅調さを示しているものの、全体的な情報化投資の抑制、縮小基調のなかで、価格下落圧力の強まりや受注競争の一層の激化など、CAC グループを取り巻く環境は予想以上に熾烈になってきております。

このような厳しい環境のなか、当年度第 1 四半期の連結業績は、前年度に M&A 等によって新たな連結子会社となった 4 社による収益貢献に加え、単体においてハード及びソフトウェア販売が、前年同期比約 2.1 倍の約 14 億円と大幅に増加したこともあり、前年度第 1 四半期との比較では大幅な増収、経常増益となりました。

特に、前年 10 月に子会社化した(株)アイ・エックス・アイ(大阪証券取引所ヘラクレス市場)はビジネスモデル提案やコンサルティングを主力事業としており、同社の事業構造上、売上計上が 3 月の年度末にかけて集中するため、当社第 1 四半期においては、(株)アイ・エックス・アイの連結売上高 32 億 45 百万円、同経常利益 5 億 41 百万円が、大幅な増加要因となりました。

当年度第 1 四半期の売上高は、上記の要因もあり、前年同期比 66.3%増の 134 億 67 百万円、経常利益は、期間稼働率の低下等による影響がありましたが、同 79.8%増の 9 億 52 百万円となりました。当期純利益については、連結子会社である(株)シーエーシー情報サービスの事業の一部閉鎖に伴う費用や、減損会計適用による投資有価証券の評価損等を特別損失に計上したこと、少数株主持分の利益控除等によって、同 5.0%増の 2 億 68 百万円となりました。

受注についても、海外先進企業等とのアライアンスによる新規サービス開始やサービスメニューの整備・強化等、積極的な営業展開に加え、新規連結子会社による増分等によって、厳しい受注獲得競争等があったものの、当年度第 1 四半期における受注高は前年同期比 48.3%増の 134 億 38 百万円、第 1 四半期末における受注残高は、前年同期比 9.2%増の 89 億 56 百万円となりました。

(注)株式会社アイ・エックス・アイは 3 月期決算であり、本年 5 月 6 日に 2002 年度の決算発表を行っております。

## サービス別・業種別の状況

当年度第1四半期におけるシステム構築サービスの売上高は、前年同期比78.0%増の90億78百万円、システム運用管理サービスは同46.5%増の43億89百万円となり、売上高構成比は、システム構築サービスが67.4%(前年同期63.0%)、システム運用管理サービスは32.6%(前年同期37.0%)となりました。

なお、当社のセグメント区分において、(株)アイ・エックス・アイの事業は、全てシステム構築サービスに該当するため、当第1四半期におけるシステム構築サービスの大幅増収は同社の寄与によるものです。

### 【システム構築サービス】

システム構築サービスにおいては、金融機関をはじめとする情報化投資縮小による影響が続いており、受注価格低下や競争激化など厳しい状況が続いておりますが、製造・サービス業向けにおける新規連結子会社の増分貢献に加え、前年度受注した食品向けシステム再構築の大型プロジェクトの本格稼働、製薬向け等における既存顧客の堅調な推移もあって、製造・サービス業向けは前年同期比で増収となりました。

当社グループは、得意分野・特化領域の一層の強化を中期的な事業拡大のドライバーと位置付けております。なかでも、優位性をもつ製薬R&D(研究開発)分野は、グローバル化や電子化などを背景に、総合的なITサポートや業務支援のアウトソーシング需要が増大しつつあります。当社は、30年以上にわたる実績と業務ノウハウの集大成である製薬R&D向け総合支援サービス「PRASMA(プラズマ)」を有しており、本年1月、新たにR&D事業本部を新設いたしました。第2四半期以降も、統計解析や電子申請などサービス・ラインアップの強化を通じた、積極的な営業に引き続き注力してまいります。

この他に、第1四半期においてはインド有数のIT先進企業であるNIIT社との業務提携によってコスト低減効果の大きいリエンジニアリング(システム基盤の再構築)サービスを新たに開始、今後のニーズが見込まれる大手金融機関を主なターゲットとして、営業・提案活動を進めてまいります。

### 【システム運用管理サービス】

システム運用管理サービスにおいては、事業の選択と集中、業務効率向上や世界規模での競争激化等の潮流を背景に、運用アウトソーシングニーズは依然、底固く、中期的なマーケット成長が見込まれます。当社グループは、システム運用管理サービスを戦略的な事業ドメインとして位置付け、この間、内外の先進企業等とのアライアンスや提携を始め、経営資源の投入を積極的に行ってきております。

当第1四半期においては、前年度より開始したNTTコミュニケーションズ株式会社とのアライアンスによる高付加価値アウトソーシング事業が軌道に乗りつつあり、両社の強みを活かした共同ビジネス展開によって複数の受注案件を獲得しております。同社の最先端データセンター内に新設した第二センターを核として、ユビキタスネットワーク時代を見据えたハイブリッド・アウトソーシングサービスによる、新規顧客層の開拓と受注獲得へ向けた協業ビジネスを、引き続き推進してまいります。

当年度第1四半期における業種別の売上高は、金融向けが前年同期比7.0%増の30億6百万円、製造ならびにサービス業向けにおいては(株)アイ・エクス・アイ他の新規連結子会社による大幅増加寄与もあって、製造業向けは同56.3%増の48億72百万円、サービス他向けは、同157.3%増の55億88百万円となりました。売上高構成比については、金融向けが22.3%(前年同期34.7%)、製造業向けは36.2%(前年同期38.5%)、サービス他向けは41.5%(前年同期26.8%)となりました。

なお、当年度第1四半期において、東洋ゴム工業株式会社とのIT戦略パートナーシップ契約締結(2003年1月)に伴い、同社の100%子会社である株式会社オルビスの発行済株式総数の90%を取得し、新たに連結子会社としました。

### 【2003年度の業績見通し】

国内経済は先行きの方向性が定まらない状況が続いており、大幅な株安や国際情勢の緊迫化、重症急性呼吸器症候群(SARS=サーズ)等による企業の景況感悪化や設備投資の低迷、消費者心理の悪化など、景気の停滞色が深まってきております。

情報システム業界においても、顧客企業における投資予算の圧縮や受注獲得競争の激化が続いており、当社第2四半期(4月~6月)以降も、一段と厳しい経営環境、競争環境が想定されます。

加えて、当社グループにおいても4月に入ってから、一部案件における工数超過、工期遅延等が顕在化してきております。

このような厳しい状況ではありますが、当社グループは、引き続き、営業および受注力強化を図っていくとともに、経営総コスト点検プロジェクトの推進を一段と加速し、あらゆるコストの見直しと削減を進め、一層の経営効率化と、継続的なグループ収益力の強化に取り組んでまいります。

## 【サービス別・業種別連結売上高】

(金額単位：百万円)

期 項目	2003年度 第1四半期		2002年度 第1四半期		増減	
	〔2003年1月1日から 2003年3月31日まで〕		〔2002年1月1日から 2002年3月31日まで〕			
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
売上高	13,467	100.0	8,097	100.0	5,369	66.3
システム構築サービス	9,078	67.4	5,101	63.0	3,976	78.0
システム運用管理サービス	4,389	32.6	2,996	37.0	1,392	46.5

	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
売上高	13,467	100.0	8,097	100.0	5,369	66.3
金融	3,006	22.3	2,809	34.7	197	7.0
製造	4,872	36.2	3,116	38.5	1,755	56.3
サービス他	5,588	41.5	2,171	26.8	3,416	157.3

(注) 記載金額は単位未満を切捨て表示しております

## 【サービス別連結受注状況】

(金額単位：百万円)

期 項目	2003年度 第1四半期		2002年度 第1四半期		受注高増減	
	〔2003年1月1日から 2003年3月31日まで〕		〔2002年1月1日から 2002年3月31日まで〕			
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	金額	増減率(%)
システム構築サービス	9,056	5,110	4,992	3,804	4,064	81.4
システム運用管理サービス	4,381	3,846	4,069	4,396	312	7.7
合計	13,438	8,956	9,061	8,200	4,376	48.3

(注) 記載金額は単位未満を切捨て表示しております

## 【要約連結損益計算書】

(金額単位：百万円)

科目	期別	2003年度 第1四半期		2002年度 第1四半期		増減	
		〔2003年1月1日から 2003年3月31日まで〕		〔2002年1月1日から 2002年3月31日まで〕		金額	増減率 %
		金額	百分比 %	金額	百分比 %	金額	増減率 %
売上高		13,467	100.0	8,097	100.0	5,369	66.3
売上原価		11,133	82.7	6,504	80.3	4,628	71.2
売上総利益		2,333	17.3	1,592	19.7	740	46.5
販売費及び一般管理費		1,240	9.2	1,037	12.8	202	19.5
営業利益		1,092	8.1	554	6.9	537	97.0
営業外収益		14	0.1	20	0.2	△5	△29.2
営業外費用		154	1.1	45	0.6	109	239.8
経常利益		952	7.1	529	6.5	422	79.8
特別利益		0	0.0	8	0.1	△7	△98.8
特別損失		78	0.6	—	—	78	—
税金等調整前当期純利益		873	6.5	537	6.6	335	62.5
法人税、住民税及び事業税		556	4.1	349	4.3	207	59.4
法人税等調整額		△106	△0.8	△67	△0.9	△38	57.3
少数株主損益		154	1.2	△0	△0.0	154	—
当期純利益		268	2.0	256	3.2	12	5.0

(注) 記載金額は単位未満を切捨て表示しております

## 【要約連結貸借対照表】

(金額単位：百万円)

科目	期別	2003年度 第1四半期末		2002年度 期末		増減	
		(2003年3月31日現在)		(2002年12月31日現在)			
		金額	構成比 %	金額	構成比 %	金額	増減率 %
流動資産							
現金及び預金		3,357		3,354		3	0.1
受取手形及び売掛金		10,455		6,916		3,538	51.2
有価証券		116		181		△65	△36.0
たな卸資産		1,533		2,460		△926	△37.7
繰延税金資産		205		172		33	19.7
その他の		600		625		△24	△3.9
貸倒引当金		△17		△15		△2	15.3
流動資産合計		16,251	53.8	13,695	49.3	2,556	18.7
固定資産							
有形固定資産		823		848		△24	△2.9
無形固定資産		4,130		4,168		△38	△0.9
連結調整勘定		3,153		3,022		130	4.3
その他の		977		1,145		△168	△14.7
投資その他の資産		9,004		9,061		△57	△0.6
投資有価証券		5,007		5,164		△157	△3.0
長期差入保証金		1,619		1,623		△4	△0.3
繰延税金資産		1,360		1,242		117	9.5
その他の		1,043		1,060		△17	△1.7
貸倒引当金		△25		△30		4	△15.8
固定資産合計		13,958	46.2	14,078	50.7	△119	△0.9
資産合計		30,210	100.0	27,773	100.0	2,436	8.8
流動負債							
支払手形及び買掛金		3,749		3,004		744	24.8
短期借入金		1,510		1,410		100	7.1
一年以内返済予定長期借入金		1,132		775		357	46.0
未払法人税等		587		380		206	54.3
賞与引当金		1,123		372		751	201.7
その他の		1,435		1,168		267	22.9
流動負債合計		9,538	31.6	7,111	25.6	2,426	34.1
固定負債							
長期借入金		3,435		3,804		△368	△9.7
退職給付引当金		2,881		2,796		85	3.0
役員退職慰労引当金		349		338		10	3.0
その他の		13		19		△5	△28.4
固定負債合計		6,680	22.1	6,959	25.1	△278	△4.0
負債合計		16,219	53.7	14,071	50.7	2,148	15.3
少数株主持分		966	3.2	803	2.9	162	20.3
資本金		3,391	11.2	3,382	12.2	8	0.3
資本剰余金		3,658	12.1	3,650	13.1	8	0.2
利益剰余金		6,206	20.6	6,069	21.8	136	2.3
その他有価証券評価差額金		△167	△0.6	△144	△0.5	△22	15.9
為替換算調整勘定		△64	△0.2	△58	△0.2	△5	9.4
自己株式		△0	△0.0	△0	△0.0		
資本合計		13,024	43.1	12,898	46.4	125	1.0
負債、少数株主持分および資本合計		30,210	100.0	27,773	100.0	2,436	8.8

(注) 記載金額は単位未満を切捨て表示しております

## 四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

### 1. 四半期連結損益計算書等の作成等に関する事項

- 財務諸表等の作成に際して準拠した基準 : 中間連結財務諸表作成基準  
 ・会計処理方法の変更の有無 : 無
- 連結および持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
 ・前年度末比 連結(新規) 1社、(除外) 0社 持分法(新規) 0社、(除外) 0社
- 公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

### 2. 連結範囲および持分法の適用に関する事項

- ・連結子会社数 13社 関連会社数 4社(うち、持分法適用関連会社数 3社)

〔主な連結子会社〕

- (国内) (株)アイ・エックス・アイ、(株)アークシステム、  
 (株)シーエーシー情報サービス、(株)シーエーシーナレッジ、(株)オルビス  
 (海外) CAC AMERICA CORP.、CAC EUROPE LTD.、CAC PACIFIC CORP.、  
 希亜思(上海)信息技術有限公司、高達計算機技術(蘇州)有限公司

### 3. 期末発行済株式数

- ・当年度第1四半期末 21,643,624株(自己株式176株を除く)  
 ・前年度末 21,586,424株(自己株式176株を除く)

---

■お問合せ先 **株式会社シーエーシー**  
 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-4-6 一ツ橋センタービル  
**広報IR室**  
 電話 (03)3263-8955  
 ホームページ: <http://www.cac.co.jp/>



## 【単体業績概要】

(金額単位：百万円)

項目	2003年度 第1四半期		2002年度 第1四半期		増減	
	〔2003年1月1日から 2003年3月31日まで〕		〔2002年1月1日から 2002年3月31日まで〕			
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	増減率(%)
売上高	8,619	100.0	7,269	100.0	1,350	18.6
営業利益	500	5.8	470	6.5	29	6.3
経常利益	428	5.0	476	6.6	△47	△10.0
当期純利益	208	2.4	251	3.5	△42	△17.0

(注) 記載金額は単位未満を切捨て表示しております

## 【サービス別・業種別単体売上高】

(金額単位：百万円)

項目	2003年度 第1四半期		2002年度 第1四半期		増減	
	〔2003年1月1日から 2003年3月31日まで〕		〔2002年1月1日から 2002年3月31日まで〕			
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
売上高	8,619	100.0	7,269	100.0	1,350	18.6
システム構築サービス	5,371	62.3	4,967	68.3	404	8.1
システム運用管理サービス	3,248	37.7	2,302	31.7	946	41.1
金融	2,851	33.1	2,613	36.0	237	9.1
製造	3,437	39.9	2,959	40.7	477	16.2
サービス他	2,331	27.0	1,696	23.3	635	37.4

(注) 記載金額は単位未満を切捨て表示しております

## 【サービス別単体受注状況】

(金額単位：百万円)

項目	2003年度 第1四半期		2002年度 第1四半期		受注高増減	
	〔2003年1月1日から 2003年3月31日まで〕		〔2002年1月1日から 2002年3月31日まで〕			
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	金額	増減率(%)
システム構築サービス	5,004	3,760	4,872	3,726	131	2.7
システム運用管理サービス	2,834	2,497	3,082	3,273	△247	△8.0
合計	7,838	6,258	7,954	6,999	△116	△1.5

(注) 記載金額は単位未満を切捨て表示しております

## 【要約損益計算書】

(金額単位：百万円)

科目	2003年度 第1四半期		2002年度 第1四半期		増減	
	〔2003年1月1日から 2003年3月31日まで〕		〔2002年1月1日から 2002年3月31日まで〕		金額	増減率 %
期別	金額	百分比 %	金額	百分比 %	金額	増減率 %
売上高	8,619	100.0	7,269	100.0	1,350	18.6
売上原価	7,244	84.0	5,942	81.8	1,301	21.9
<b>売上総利益</b>	<b>1,375</b>	<b>16.0</b>	<b>1,326</b>	<b>18.2</b>	<b>48</b>	<b>3.7</b>
販売費及び一般管理費	874	10.2	855	11.7	19	2.2
<b>営業利益</b>	<b>500</b>	<b>5.8</b>	<b>470</b>	<b>6.5</b>	<b>29</b>	<b>6.3</b>
営業外収益	39	0.5	29	0.4	10	35.1
営業外費用	111	1.3	23	0.3	87	364.9
<b>経常利益</b>	<b>428</b>	<b>5.0</b>	<b>476</b>	<b>6.6</b>	<b>△47</b>	<b>△10.0</b>
特別利益	0	0.0	8	0.1	△7	△98.8
特別損失	30	0.4	—	—	30	—
<b>税引前当期純利益</b>	<b>398</b>	<b>4.6</b>	<b>484</b>	<b>6.7</b>	<b>△85</b>	<b>△17.7</b>
法人税、住民税及び事業税	240	2.8	300	4.1	△60	△20.0
法人税等調整額	△49	△0.6	△67	△0.9	17	25.7
<b>当期純利益</b>	<b>208</b>	<b>2.4</b>	<b>251</b>	<b>3.5</b>	<b>△42</b>	<b>△17.0</b>

(注) 記載金額は単位未満を切捨て表示しております

## 【要約貸借対照表】

(金額単位：百万円)

科目	2003年度 第1四半期末		2002年度 期末		増減	
	(2003年3月31日現在)		(2002年12月31日現在)		金額	増減率
	金額	構成比 %	金額	構成比 %	金額	%
流動資産						
現金及び預金	2,033		2,300		△ 266	△ 11.6
受取手形及び売掛金	6,717		5,594		1,123	20.1
有価証券	100		100		—	—
たな卸資産	860		542		318	58.8
繰延税金資産	106		106		—	—
その他	377		355		22	6.4
貸倒引当金	△ 9		△ 9		—	—
流動資産合計	10,186	40.8	8,988	38.0	1,198	13.3
固定資産						
有形固定資産	641		656		△ 14	△ 2.2
無形固定資産	268		286		△ 17	△ 6.3
投資その他の資産	13,860		13,706		153	1.1
投資有価証券	4,684		4,805		△ 120	△ 2.5
関係会社株式	5,541		5,271		270	5.1
長期差入保証金	1,515		1,519		△ 4	△ 0.3
繰延税金資産	1,166		1,099		67	6.1
その他	965		1,029		△ 63	△ 6.2
貸倒引当金	△ 14		△ 19		5	△ 28.4
固定資産合計	14,770	59.2	14,648	62.0	121	0.8
資産合計	24,956	100.0	23,637	100.0	1,319	5.6
流動負債						
買掛金	2,995		2,559		436	17.0
1年以内返済予定長期借入金	980		730		250	34.2
未払法人税等	233		306		△ 72	△ 23.7
前受金	406		50		356	712.1
賞与引当金	834		253		581	229.8
その他	712		836		△ 124	△ 14.9
流動負債合計	6,162	24.7	4,735	20.0	1,426	30.1
固定負債						
長期借入金	3,420		3,670		△ 250	△ 6.8
退職給付引当金	2,655		2,594		60	2.3
役員退職慰労引当金	264		257		7	2.9
その他	92		92		—	—
固定負債合計	6,432	25.8	6,614	28.0	△ 181	△ 2.7
負債合計	12,594	50.5	11,350	48.0	1,244	11.0
資本金	3,391	13.6	3,382	14.3	8	0.3
資本剰余金	3,642	14.6	3,634	15.4	8	0.2
利益剰余金	5,494	22.0	5,413	22.9	81	1.5
その他有価証券評価差額金	△ 166	△ 0.7	△ 142	△ 0.6	△ 23	16.6
自己株式	△ 0	△ 0.0	△ 0	△ 0.0	—	—
資本合計	12,361	49.5	12,287	52.0	74	0.6
負債および資本合計	24,956	100.0	23,637	100.0	1,319	5.6

(注) 記載金額は単位未満を切捨て表示しております